



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

No.43 (2017年3月号)



園芸福祉の庭にて 2月の定例作業を終えて

目次

「咲かそう！花の輪、人の環、グリーンツーリズム」大成功！！	2
高齢者施設での福祉園芸体験事業報告	3
2017年1月からの主な活動報告	5
お知らせです！	5
毎月第3土曜日 15時から定例会	5
事務局からのお知らせ	6
園芸福祉の庭のいま	7

「咲かそう! 花の輪、人の環 グリーンツーリズム」大成功!!

米倉 治美

今から8年前「あなたも田舎暮らしをしてみませんか」の新聞記事に魅せられ、バスも走っていない、コンビニもない、街灯もなく夜は真っ暗。そんな山郷、熊本県球磨郡山江村で2年間の田舎暮らしを経験。親戚のような交流を楽しんだ山江村に昨年夏、帰郷した際山江村グリーンツーリズム会員との飲みにケーションで「福岡で交流ができたらいいいね!」。この一言で2月26(日)山江村と宇美町で『花の輪、人の環 グリーンツーリズム』が花開きました。

9時過ぎ宇美町ハーブガーデンに熊本県球磨郡山江村からたくさんの彼岸花を積んだトラックと山江村グリーンツーリズムの皆さんが到着。長旅の疲れを感じさせない内山村長、山江村の皆さんに圧倒されながら、福岡のあんちゃん(米倉が田舎暮らしでお世話になったお一人)の指導で宇美町コミュニティ・ガーデンでの彼岸花植えはアッという間に終わりました。

今回2016年4月14日熊本を襲った大地震、被災地熊本の一日も早い復興と県民の皆様への応援メッセージを込め「彼岸花ロードを作りたい」と協力をお願いしたところ、趣旨に賛同してくれた緑のコーディネーターが活動する福岡市内9カ所の花壇にも彼岸花を植えてくれることになりました。今秋、宇美町ハーブガーデンをはじめ市内のあちこちに熊本への応援メッセージを込めた『真っ赤な彼岸花ロード』が広がるのが楽しみです。

作業後は石釜ピザをいただきながら小腹を満たして「お疲れ様」。昼食は福岡の皆さんに「山江村を体感してもらいたい」と会代表の川内美智代さんにリクエストしたイノシシ肉入りだご汁に皆さん「おいし〜い!」と満面の笑みでした。

夕方から開いた交流会の居酒屋に14名が集い、みなさん今日初めて会ったとは思えないくらい打ち解け、にぎわった宴でした。「今度は山江村に行こう!」と福岡組。「咲かそう! 花の輪、人の環 グリーンツーリズム」は大成功に終わり、更に二次会のカラオケへ。みんな歌って歌って楽しい夜は更けていきました。(笑)



高齢者施設での福祉園芸体験事業報告

谷口 博隆

福祉園芸体験は花あふれるふくおか推進協議会の事業（国産花きイノベーション事業：農水省）です。実施については前号に黒瀬恵子さんが紹介されていますように県内の高齢者施設で利用者さんにハンギングバスケットづくりを体験して頂いています。今年度は飯塚市、北九州市八幡東区、北九州市若松区、久留米市田主丸町、古賀市、の5カ所の施設で10回実施しました。デイサービス施設でのハンギングバスケットづくりは、約1時間の体験時間内に利用者さんにお花を楽しみながら完成させて達成感を味わっていただくものです。前準備として花苗12株の内8株を側面に植え込みます。次に体験エリアのテーブルに材料をセットし、黒瀬講師が丁寧に作り方を説明してから利用者さんが容器の上の部分に4株植え、用土を入れてからミズゴケで覆い完成させるものです。この体験を安全に楽しんで頂けるよう制作する時に容器が転倒しない、車イス利用者の方も作業性が良いようにと試作を重ねてスタンドを完成しました。完成した作品をチェックして手直しをした後職員の方に水やりのコツ、展示中の管理のポイントを習得されるまで説明しました。作品は施設のフェンスに飾り5月まで展示し、期間中は施設職員と利用者様に花がら摘みや水やりなどをお願いしています。これらの作業により会話が弾み、歩行距離が伸びたり、手指の運動機能や認知機能の改善などにも役立つと考えています。さらに施設を訪れる方々にも咲き誇る花をお楽しみ頂けます。作品を半年間展示することで施設はもとより地域の景観向上にも大きく貢献できるものと考えています。

次に福祉園芸体験に参加された利用者様や施設の方から頂いたアンケートの結果をご紹介します。

※利用者様から回答数の多かった項目を表示します。

Q：ハンギングバスケットづくりは楽しかったですか。

A：楽しかった 89.4%

Q：みんなで一緒に花の作品を作ることは楽しいですか。

A：楽しい 97.2%

Q：作ったハンギングバスケットを施設に飾ることは

A：良いと思う 94.1%

Q：今日の体験をして気分や体調はどうですか。

A：良くなった 74.4%

Q：ハンギングバスケットづくり体験をまたしたいですか。

A：是非したい 85.4%



事前に側面を植付けて準備



黒瀬講師による制作手順の説明



きれいなねーと、楽しみながら制作

Q これからも花を使った体験をしたいですか。

A : 是非したい 80.1%

次に施設職員の方の回答を見てみましょう。

Q : 体験した利用者は楽しそうだった。

A : 良くあてはまる 87.2%

Q : 体験した利用者様の表情は明るく元気になっていた。

A : 良くあてはまる 79.7%

Q : ハンギングバスケットづくりは利用者様に適している体験だと思う。

A : 良くあてはまる 87.5%

Q : 福祉の場に花や園芸の体験が入ると心が安らかになる。

A : 良くあてはまる 91.3%

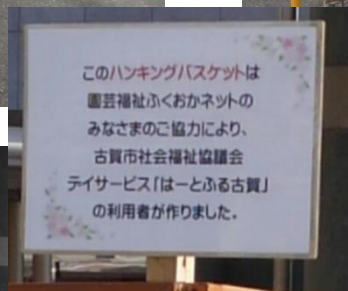
Q : 福祉園芸体験は利用者様にとって効果効用が期待できると思う。

A : 良くあてはまる 88%

この様に高い評価を頂くことが出来て大変うれしく思います。福祉園芸の活動は全国で花を活用した取り組みを展開してあります。私たちはアンケートの結果を励みにハンギングバスケットづくりの体験を通してより多くの方に幸せになって頂きたいと思います。花に興味がなかった人も花のパワーで笑顔になって頂きたく、園芸福祉ふくおかネットは福祉園芸をより推進して参ります。



花がら摘みや水のやり方を説明



福祉園芸体験作品の主な展示状況

左上：飯塚市の施設

上：北九州市若松区の施設

中央：作品の説明板

下左右：古賀市の施設

